

令和2年2月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 中村 顕介

書記 星井 絵名

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和2年2月13日(木) 午後1時30分～午後2時30分

◆場所 壺番館庁舎 共用会議室

◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿	教育長職務代理者	柴 田	仁 市 郎
委 員	池 野	暢 子	委 員	佐 浦	弘 一
委 員	松 田	攝 子			

池野委員においては、議案1号の承認後、途中退席

◆事務局

教 育 部 長	阿 部	光 浩	教 育 次 長	本 田	幹 枝
教育総務課長	佐 藤	聡 志	学校教育課長	遠 山	勝 治
生涯学習課長	伊 藤	英 史	市民交流センター館長	井 上	靖 浩
教育総務課総務係長	中 村	顕 介	教育総務課主査	星 井	絵 名

◆定例会次第

1 開会

2 前回会議録承認

3 会議録署名委員の指名

4 議案

議案第1号 教職員の人事について

5 教育長報告

① 本市の教育活動の状況について

6 専決処分報告

① 令和元年度一般会計補正予算案に対する意見について

② 令和2年度一般会計当初予算案に対する意見について

7 その他報告

① 塩竈の子どもたちと神戸の高校生との交流事業（塩竈招待プログラム）について

② 令和2年度服務宣誓式・教育実践発表会について

8 閉会

1 開会 午後 1 時 30 分

2 前回会議録委員の署名

柴田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

佐浦委員と松田委員を指名

4 議案

高橋教育長より、議案を説明した。

① 議案第 1 号 教職員の人事について

採決：全会一致で承認

なお、審議は人事案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項のとおり、秘密会にて行い、資料についても当日に配布し、承認後回収した。

5 教育長報告

高橋教育長から、以下のことについて報告

① 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

松田委員 公開研究会について、塩竈市だけでなく他の市町からの視察の受け入れなどは呼びかけたか。

遠山課長 パイロットスクールで実施している公開研究会は、基本的には市内の教師の授業力を高める目的で行っている。市ホームページで日程等は公表しており、今回は学力向上マネジメント支援事業を受託している市町村（石巻市、大崎市等）や仙台市から視察に来ていただいた。

6 専決処分報告

佐藤教育総務課長より、以下のことについて報告

① 令和元年度一般会計補正予算案に対する意見について

② 令和 2 年度一般会計当初予算案に対する意見について

[主な質疑]

佐浦委員 非常勤から会計年度任用職員となったのは、何か制度の変更が

- あったのか。
- 佐藤課長 令和2年4月から改正地方自治法が施行されることにともない、期末手当などの支給が定められた。
- 佐浦委員 働き方改革の関連で、同一労働同一賃金の影響か。
- 佐藤課長 そうした趣旨を踏まえてと考えております。
- 柴田委員 前年踏襲の予算組みに見える。思い切った企画で教育にインパクトを与えるようなことを考えてほしい。
- 高橋教育長 3年前に比べて2千万ほど学校教育費が上がっている。小中一貫教育・学びの共同体に取り組んできたことが認められつつある。しかし、他で削られるところがある相対的には増えていかないところではある。
- 佐浦委員 中学校長寿命化が0円になっているが、一巡したのか、他は緊急度が低いということか？
- 佐藤課長 令和元年補正にて第一小学校で長寿命化改修が予定されている。補正予算に3億円ほど計上しており、当初予算とはならないため、0円となっている。
- 佐浦委員 令和元年度の補正とは、いつまで執行せねばならないのか。
- 佐藤課長 予算を次年度へ繰り越して事業を実施することになる。
- 高橋教育長 40年を超えた校舎が多くある2年で1校ができるように計画している。
- 佐浦委員 美術館の委託料が上がっているのは、事業の充実させるためか。
- 伊藤課長 そうである。大きく2点依頼しており、これまで小学生向けの学習支援プログラムを中学生へも幅を広げること、また、門前町エリアやその歴史に注目した事業に取り組むこと、である。
- 佐浦委員 杉村惇美術館の運営のみならず、業務の幅を広げていくということか。
- 高橋教育長 そうである。芸術文化の拠点となることの意味合いを濃くした。
- 松田委員 給食室の修繕はどのようになっているのか、以前はセンター化などの話もあったが。
- 佐藤課長 センター化がありますので、躯体に直接手を加えずに、備品等の修繕にて予算を組み安全な給食提供をめざしている。
- 高橋教育長 センター化の話は進んでいない。20億円ほどかかると見込んでおり、予算化するのも難しいと思っている。
- 佐浦委員 公共施設再配置計画の委員会にも参加していたが、学校の話題も出ていた。特色ある給食が出ていたので、続けてほしいという声もあった。それ以上に施設の老朽化が問題になっていた。

高橋教育長 地産地消と言いながらも、魚の切り身は生では納品できないなど、基準に当てはまる食材を入れようとすると、地元企業では対応ができないこともある。改修などを想定すると、ハサップに準じなければならず、対応するには現行の給食室では床面積も不足するため、センター化が現実的な選択肢と考えている。

7 その他報告

- ① 塩竈の子どもたちと神戸の高校生との交流事業（塩竈招待プログラム）について
- ② 令和2年度服務宣誓式・教育実践発表会について

〔主な質疑〕

特になし

8 閉会 午後2時40分

〈会議録署名委員〉

3番委員

（佐浦委員）

4番委員

（松田委員）